

## 木づかいガイドライン作成関連資料

### 1 平成 27 年度 木づかいガイドラインの活動方針について

- ① 平成 26 年度に作成した提案型「木づかいガイドライン さあ~しよう」の原案を基本に、各提案項目について提案が可能なものから順次提案者へ原稿を依頼して作成業務を行う
- ② 「木づかいガイドライン」は、こうした方法で順次提案者に作成依頼を図りながら、その内容を増やしていく
- ③ 並行して開催する「木づかいライブ・スギダラキャラバン」は、「木づかい」推進のリーダー役を務める根羽村森林組合がまとめ役となって、里山市民グループ・地元工務店・地域の団体等と連携しながら、流域内の様々なイベントとジョイントを図り、地域に活力を生み出す元気な人の輪を育成する
- ④ 「木づかいライブ・スギダラキャラバン」開催を通して、「森づくりガイドライン・木づかいガイドライン」等の森づくりと木づかい情報を発信して、矢作川流域の森林資源・木づかい推進活動を紹介しながら、森や木づかいのファンを増やしていく
- ⑤ 同時に、木育アイテムや「どこでもシリーズ」等スギダラ商品の開発を図りながら、矢作川の流域材を活用した楽しい「木のある暮らし」を広く市民に提案して、その普及と定着を図る
- ⑥ こうした楽しい「木のある暮らし」の普及を基本として、市民自らのアイデアと行動で身近なあらゆる生活空間をスギダラケにする市民活動を生み出し、「人生を楽しみ愛する家族と共に幸せに暮らす 森や木とそれを育む矢作川の流れと共に生きるライフスタイル 矢作川ディズ」を確立する

## 2 木づかいライブ・スギダラキャラバンについて

### ●「流域ものさし」づくり

- ・入手済原木  
スギ、ヒノキ、アカマツ、カラマツ、サワラ、コナラ、シデ、ミズメ、コシアブラ、ホオノキ、サクラ、タカノツメ、カエデ  
他にトチノキ、アベマキ、アラカシ、シデ、イヌツゲを山本薫久さんから入手予定(別紙 作業日程)
- ・どんな木でも細分化して組木として製作  
ものさし、カットボード等
- ・根羽村森林組合が上下流の小学校等で製作指導
- ・製作と併せて「私の流域物語」をつくる
- ・上流の子供が下流の子供に「流域ものさし」を製作して「私の流域物語」と一緒にプレゼントして、お互いの流域の楽しみを伝える
- ・住んでる場所の自慢・楽しみ・流域の誇りを伝える
- ・「私の流域甲子園」として「スギダラキャラバン」で「流域の一人ひとりが流域への想いを伝えるイベント」ができないか

### ●あそべるとよたDAYSに参加して

- ・出展企画 ①ガゼボ、どこでもブランコ、どこでもウッドデッキ、どこでもオセロ  
②バンブードーム、動く木のおもちゃ、木のペンダント、表札、輪っば
- ・出展期間 11月1・2・3日
- ・出展場所 豊田市駅前 T-フェイス前広場
- ・木づかいによるプレイスメイキング居心地の良い人のあつまる空間づくり・場所のカづくりができないか → 実質2日間で2,000人を集客(木のペンダント200個製作)
- ・今後、豊田市駅前商業施設Tフェイスと根羽村との連携体制の可能性がある。
- ・今後、流域連携の拠点としての展開が期待できる。
- ・実施内容については、別紙実施報告・アンケート回答を参考

### ●「どこでも根羽物置」を「メッセナゴヤ2015」に出展して

- ・良好な反応でした。お客様からは、本体税込194,400円の金額なら手が出せる、自分で組み立てられるのが良い、木質感がよい、自由設計がよい、等の声が多くいくつかの注文がありました。
- ・今後、スギダラキャラバンや木づかい授業の一環として学校の校庭等で生徒によるセルフビルドに取り組みたい

### ●根羽村の間伐実績によるカーボンオフセットクレジット購入から(28年度販売見込み)

- ・下流域の市町村等に原則的に購入者のCO2排出分のクレジットを購入してもらい、それを原資として「木づかいライブ・スギダラキャラバン」を実施する

- ・単に空気を購入しても市民の目には見えない。これを原資に「木づかいライブ・スギダラキャラバン」を実施し、購入者と協働して「地球温暖化防止」「下流域の木づかいによる森林整備推進」「林業による持続可能な山村」をPRする
- ・ひとつの山村の収入源とその活用についての方法論の提案
- ・安城市より次年度に市内 11 の公民館を回る「木づかいライブ スギダラキャラバン」の実施及び農家民泊を 1 回から 2 回に増やす依頼があり、安城市でそれぞれの実施のため予算措置に取り組まれている。
- ・木づかい推進等の私たち山部会の取り組みに対する共感から、安城市のような流域連携に結びつく公的資金の流れを作りたい。豊田市駅前広場のプレイスメイキングへの公的資金の支援も期待したい。

●豊田市浄水北小学校での伐採作業の実施

- ・11月6日、豊田市浄水北小学校の学有林のヒノキ8本を伐採し、遊具の材料にした。今回は伐採シーンを生徒に見せられなかったが、木を伐採して物置の製作・木の科学実験、全学年への木のアイテム提供・山しごと学習等を土曜日に実施していく方法であるなら、学校カリキュラムに関係なく実施できるとのことである。今回地元ボランティア4名と作業を行ったが、地元住民と生徒と「森の民」等の組み合わせによる取り組みは、森づくりや木づかい推進のパターンにできると思う。

3 木づかいガイドガイドライン作成の取り組み整理について

別紙のとおり

4 豊田市中核製材工場の計画について

別紙のとおり

平成 27 年 11 月 27 日

山部会 木づかいガイドライン作成の取り組み整理

区 分	主 体 者	内 容
木づかいガイドライン	市民 行政 業界 研究者	「さあ~しよう」提案
木づかいライブ スギダラキャラバン	根羽村森林組合	別紙 スギダラキャラバンの実施 スギダラ天竜支部との連携 木の魅力と楽しさを「森の民」が伝える 木製品の受注販売 木づかい推進の取り組みに対する公的資金による支援
様々な木のある暮らしのアイテム提案	根羽村森林組合	どこでもシリーズ → 水平展開から垂直展開へ 動く木のおもちゃ → 木の魅力に釘付け・木の魅力への導き 流域ものさし → 全国共通アイテム化・私の流域甲子園 根羽物置 → 手が届く価格・実用的・自由設計・自分で建てられる 安曇野市 中房温泉 貸切風呂「根羽の湯」 → 露天風呂交流
矢作川ディズ・木づかい市民活動・フェアトレード・流域連携	あそべるとよたプロジェクト 流域フェス 豊田市 市民 東幡豆漁業組合と根羽村森林組合 安城市と根羽村森林組合 中房温泉と根羽村森林組合 信州大学等と根羽村・根羽村森林組合 豊田市製材工場と根羽村森林組合 流域内工務店と根羽村森林組合	市民提案・参加型プレイスメイキングによる流域連携の拠点創設 流域連携イベント → 市民活動に向けたキックオフ 川会議による流域連携 私の流域物語・スギダラキャラバンへの参加による木の魅力の気づき 漁礁及び憩いの浜辺プレイスメイキング(場所の力づくり) カーボンオフセットを原資とした木づかい推進活動・公的資金支援 愛知県小中学生を対象とした温泉・山岳・森林・木づかいファンづくり 流域資源活用・持続可能な流域づくりのための流域内知の集積ツアー お互いに補完しあう矢作川流域材の生産・流通 木づかい推進活動と連携した「子供の時から始める木の家づくり物語」

「動く木のおもちゃと木のある暮らしのアイテム展」



27.11.1~3 豊田市あそべるとよたプロジェクト 豊田市駅前T-フェイス広場前  
「どこでもウッドデッキ」・「どこでもブランコ」・「どこでもオセロ」とガゼボの組み合わせ  
による居心地の良い木の空間づくり (プレイスメイキング)









27.11.4~7 メッセナゴヤ 2015

「根羽物置」の展示



# あそべるとよた DAYS 実施報告書

- 団体名：耕ライフ編集部・根羽村森林組合
- 記入者：根羽村森林組合 今村 豊
- 記入日：11月 16日

**提出期限：11月11日(水)**

## 【全団体記入をお願いします】

(1) 中止した日がある場合、その日にちと理由をご記入ください。

中止日	理由
なし	

※自己都合による中止の場合は、返金しません。

(2) プログラムに参加された人数を教えてください。(おおよそでかまいません。)

500人/日×2日 1,000人(2日目は雨のためほとんどなし)

(3) プログラムに参加された方について教えてください。(おおよそでかまいません。)

①プログラムに参加された方は、どの年代の方が多かったですか。(複数選択可)

10代 20代 30代 40代 50代 60代 70歳以上

②プログラムに参加された方の性別のおおよその比率を教えてください。

男性：女性 = 4：6

③プログラムに参加された方は、どのような職業の方が多かったですか。(複数選択可)

会社員・公務員 学生 主婦 子ども その他

④プログラムに参加された方は、どなたと来られている方が多かったですか。(複数選択可)

仲間と参加 家族(夫婦・親子)で参加 1人で参加 その他 ( )

(4) プログラムに参加された方が多かった時間帯を教えてください。

記入例. 10時頃、19時～21時ごろ など 回答 10:00～20:00 幅広い年代で使用されていました。

(5) 自ら実施した広報がございましたら、教えてください。(複数選択可)

プログラム用のWEBサイト作成・発信 団体のWEBサイトで発信

団体・個人のFacebookで発信 チラシを作成

その他 プログラム・フリーペーパーの配布



## ■あそべるとよた DAYS でプログラムを実施した感想

Q4. あそべるとよた DAYS でプログラムを実施した感想を教えてください。

とても満足 満足 普通 やや不満 不満

【その理由】

- ① 想像以上に多くのお客様に楽しんでいただけたこと
- ② 幅広い世代層に楽しんでいただけたこと
- ③ 木の魅力・楽しさを伝えられた達成感が得られたこと
- ④ 園田さんの「プレイスメイキング」の概念を得て実践できたこと。これは大変参考になりました。ありがとう。
- ⑤ 豊田市さんの企画力が素晴らしく、出展前の講座開設や交流会企画は今後の展開に結び付いたこと

Q5. まちなか広場でプログラム実施した最大のメリットは何でしたか。

根羽村森林組合では「木づかいによる上下流連携システム」の構築による持続可能な森林・組合経営を目指しています。特に、流域の子供たちに木の楽しさと魅力を私たち「森の民」自らが伝えることによって、流域内にある身近な地元の木をもっと利用してもらいたいと願っています。木のぬくもりやその魅力は、多くの方々との間で心の絆をつくり、その場を明るい共感の場に変えていきます。

今回「楽しい木のある空間づくり」(プレイスメイキング)の場として、今回の豊田市駅前広場(Tフェイス前広場)は、とても機能してくれた、ということを理解できたことが最大のメリットです。今後、例えば、「根羽フェス」等、上下流連携企画による様々な展開が可能だと思います。参加者が主体性を持って魅力的な街づくりを、様々な仲間とコラボして実現できる、ということが実践を通して良く理解できました。

Q6. まちなかの広場の活用のために、利用ルール、設備、料金イメージなど、今後、改善したら使いやすくなるという点をご自由にお書き下さい。

今回のような「遊べるとよたプロジェクト」の成功はとても大きな意義があると思います。今回のような募集システムや、参加したい人がどの窓口に行けばよいのか等、今回は様々なアイデア・企画が成功したと思います。なので、以下の点を提案します。

まちなかの広場の活用のために

- ① 出展できる場所・内容・期間・時間等の出展条件を明確にした出展募集については、豊田市さんが行う。
- ② 出展料は今回のように豊田市さんでヒアリングして、面積等によって決定してもらいたいです
- ③ 出展の実際にあたっては、出展者と周辺の民間店舗等との同意で行い、その連絡先・責任者について豊田市さんの方でとりまとめていただき、後は関係者にまかす。
- ④ できれば、豊田市さんの方でこれは「まちなかの広場の活用」のためにというとても有効という施設・備品等があれば、豊田市さんで予算化の上、公設民営(市で購入、出展者・周辺店舗で責任運営管理)していただければ大変ありがたいです。
- ⑤ 今回も材料費等に対する支援措置をしていただきましたが、ありがたかったです。制度的には参加者の主体性を引き出せる補助事業、例えば長野県単独事業である「地域発 元気づくり支援事業」

等も参考にさせていただいて、テーマ性のあるソフト事業の支援も行っていただけると助かります。  
(今回は他県なのに対応していただきとても画期的です)

- ⑥ もしできるのであれば、出展前に出展者による簡単な出展紹介により、コラボ性まで引き出せたら面白いと思います。例えば、バンドが演奏する時、木の楽器を使ってもらおうとか、ステージに捨ててしまう端材を支援してあげるとか。
- ⑦ その意味で、今回の参加者等による「とよたまちなかの広場の活用」というテーマでブレインストーミングをしたら面白いと思います。

Q7. 今後ともまちなかの広場を使ってご自身の活動を実施したいと思いますか。

- 積極的に実施したい    実施したい    あまり実施したくない    実施したくない

【その理由】

とりあえず、根羽村森林組合を中心にして「根羽フェア」を積極的に豊田市駅前で実施したいです。それは、4本のケヤキと2本のクスノキで囲まれたTフェイス前広場が環境的に魅力的なものと、今後多くの方々に木の楽しさと魅力を伝えたい・やるんなら全村民も参加するぜ、という気持ちが強いためです。(今回良かった感じを何人かの村民に伝えているので)

また、Tフェイスさんと連携して、豊田市さんがきっかけとなった「持続可能な上流山村を支える下流域都市との一連携」のモデル事例としたいです。例えば、山村で今朝採れたばかり旬の夏野菜(生で食べられる糖度22のサニーショコラというトウモロコシ)を速攻でこの広場で販売した後、木の遊びに結びつけるとか、「しし鍋・五平もち・アマゴ焼き」3点セットを昼頃オプションでセッティングするとか、産直市場の場として機能させてもらう、というようなことに取り組みたいです。

例えば、農林業に携わる者が自ら主体的に工夫を凝らした生産物をコンセプト・物語付きで販売する、という構図です。遊休農地が50haもある根羽村では、遊休農地を森林組合の新規就業者に利用してもらい、農林業による所得の向上を図る、という構想を検討していますが、都市部に自由に利用・販売できる場所ができれば、モチベーションも上がるというものです。また、もっと人的ネットワークを広げて、南信州とか、信州フェアも可能ですね。

■豊田市駅周辺のまちなかの広場の活用について

あそべるとよたプロジェクトでは、豊田市駅周辺にある開けた空間“まちなかの広場”を、“人”の活動やくつろぎの場として開放し、さらにはとよたの魅力を伝え、とよたに愛着を持てる場所として、使いこなしていくことを目指しています。



Q8. あなたが今後まちなかでご自身の活動の場として使いたいと思う場所をおしえてください。下記のまちなかの広場より、最も使いたい場所、2番目に使いたい場所、3番目に使いたい場所の番号をご記入ください。その他の場合は、具体的な場所もお書きください。

《まちなかの広場》

1. 新豊田駅前広場      2. シティプラザ      3. ペDESTリアンデッキ広場  
 4. 豊田市駅西口デッキ下      5. ギャザ南広場      6. 参考館前広場  
 7. コモ・スクエアイベント広場      8. 喜多町3丁目ポケットパーク      9. 桜城址公園  
 10. その他（実は他の場所を良く知らないの）

使いたい広場	まちなかの広場 ※上記より、《まちなかの広場》よりお選び下さい。
①最も使いたい場所	
②2番目に使いたい場所	
③3番目に使いたい場所	

Q9. 今回、あなたがプログラムを実施したまちなかの広場の使用料金について、ご意見をお聞かせください。今後、同じプログラムを同じまちなかの広場で実施する場合、適切だと思う使用料を教えてください。

金額：原則無料がよい    ただし、出展に伴う実費については出展者負担

**■その他・自由意見**

Q10. あそべるとよたプロジェクトについて、自由にご意見・ご感想をお聞かせください。

すでにたくさん述べたてきたので、その内容です。  
ぜひ、継続的に今回の企画を展開してもらいたいと思います。  
根羽村森林組合では個別にTフェイスと今後の展開を検討します。

色々と楽しい企画、スタッフの皆様ありがとうございました。

**アンケートのご協力、ありがとうございました！**

**期間終了後、追加でアンケートをお願いする場合がございます。ご協力、よろしくお願ひします。**

平成 27 年 11 月 17 日

流域ものさし原材料









## 市民発！まちづくりシン展事業 中間報告

事業名	半農半林ー地域でつくる山仕事・糧・恵み
実施者	山本 薫久

### 実施内容とスケジュール

4月 プレ社会実験のまとめ 間伐面積・本数・集材と出材・人工・報酬のシミュレーション



5月 **半農半林「モデル」づくり有識者会合※1**

**間伐・集材研修※2**

**山の恵み学習会※3**

6月 **山の健康診断※4**



**串原農林から学ぶ**

7月 ↓ ↓

8月 ↓ ↓



**2015年実施林の紹介・下見**



9月

10月 **半農半林・新しい希望者への説明会・実習【2回】**

**「半農半林」家族と地域・感謝の集い**



11月～3月 2015年度**半農半林隊の間伐・集材実施開始※5**



**※1 半農半林「モデル」づくり有識者会合**とは、指導林家、プロの作業技術士、森林ボランティア、森林課職員、森林研究者、半農半林隊メンバー、おいでんさんそんセンターメンバーによる会合（月1回）。半農半林隊の社会実験を検証し、助言などサポートをしていく。「モデル」として必要な考察も行っていく。

**※2 間伐・集材研修**とは、指導林家、プロの作業技術士、森林ボランティアから間伐や集材など素材生産の知識と技術、安全について学ぶ。

**※3 山の恵み学習会**とは、森林の研究者、木工関係、自然観察指導員、郷土史研究家などを講師に以下の項目を学ぶ。自らの地域の豊かさを知り、地域に誇りをもたせ、恵みを活かした地域の営みを促す原動力となる。地域資源を活かした農家民泊、ツアーや自然と農都交流企画、次世代育成につないでいく。

①森林保全の理論（森林の植生遷移、森林の生態ピラミッド、森林の植生分布など）

②スギ・ヒノキ・広葉樹・きのこ・山菜などの活用③森の植生や動物の生態など④森林と集落の歴史・文化

**※4 山の健康診断**とは、山主さんの求めに応じ①林分調査②植生など環境調査③施業診断をして

アドバイスをする。団地化や森づくり会議を進める森林課や森林組合とつないだり、山主さんの自力間伐や「半農半林隊」への依頼など、山の状態や面積、山主さんの意向を聞いて方策を山主さんと一緒に考える。

**※5 半農半林隊の間伐・集材実施**は、間伐補助金や出荷収入で賄う。実施回数はプレ社会実験での結果を踏まえ半農半林隊の会合で話し合っ決めていく。

**実施協力体制**半農半林隊は農山村に暮らす人を中心に現在8人で構成。指導や助言を林家、森林行政関係者から受ける。おいでんさんそんセンター・プラットホーム・森林部会では半農半林隊を「モデル」検討。

☆就農が目的で農山村へ移住してきた若者のつづやき

「春先から秋までは、田んぼや畑の収穫と販売で大忙しだ！でも、冬場はわりと時間がとれる。地域でできる仕事はないだろうか？」

☆若者家族を受け入れてきた地域の方のつづやき

「帰ってきたり新しく入ってきたりしてこの集落に若い家族が住んでいるのがうれしい。でも、この若い人たちの仕事と収入のことが気になる。せっかく来てもらっても、続くのか…。」

☆地域の山主さんのつづやき

「自分の山の間伐、やんなくちゃーとは思っている。でも、やり方がわからないし、時間もとれない。どうしようかと思っている。」

☆豊田市関係者のつづやき

「人工林の手入れは災害防止と水源維持として待ったなしだ。森林課も森林組合もがんばっている。しかし、目標どおり間伐を進めるためには山主さん自身の自力間伐や山主さんに代わって作業してくれるプロやセミプロなどがもっとも必要だ。素材生産（伐採と集材）に適した冬場の季節労働が増えることは歓迎。」

☆農山村地域で一人暮らししているお年寄りのつづやき

「農業や林業がお金にならなくなっていき、自分たちの息子たちには街へ出て仕事をするよう促した。でも、山や田んぼを荒らすわけにはいかない。しかし…。」

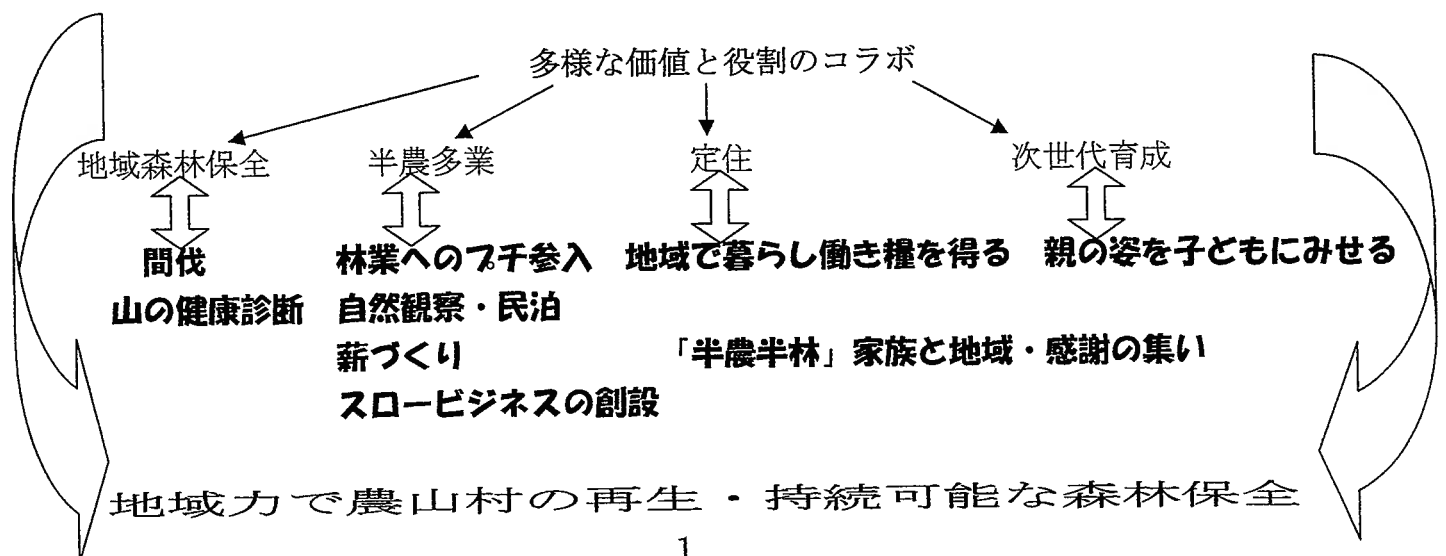
☆子どもが生まれたIターン者のつづやき

「僕は好きで農山村へ移住し仕事をして暮らしている。でも生まれてきた子どもは最初から農山村地域で暮らすことになる。親である僕らが田んぼや山で仕事して誇りをもって生きて暮らす姿を子どもや家族にみせたい。山や田んぼや畑で働くこと、地域の祭りや共同作業に一生懸命なこと、薪を割ったりみんなで味噌や醤油をつくったり家事がいっぱい…これが『かっこいい』『おもしろい』。子どもたちがそんな風に思ってくれたらうれしい。子どもたちのふるさとづくりなのだ。」



個人事業（農産物販売・陶芸・民間施療など）+春先から秋までは野良仕事+秋から春までは山仕事=**半農半林**

「半農半林」それは里と山の恵みを暮らしと地域に活かすこと、家族どうしで励まし合うこと



半農半林 今期（2015. 11月から）の取り組みについて（案）

- ・農的暮らしをめざす人(家族)が、地域で、冬期に、森林保全にも貢献し森の恵みも得ていけるあり方を模索し実践していきます。

- ・今期 活動予定日 その週で雨天で活動できなかった日の予備日として「予」を設定

	日	月	火	水	木	金	土
11月				18	19		
				25	26	予	
12月				2	3	予	
			8	9			
				16	17	予	
				23	24		
1月				6	7	予	
			12	13	予		
				20	21	予	
				27	28	予	
2月				3	4	予	
				10	11	予	
				17	18	予	
				24	25	予	
3月				2	3	予	
			8	9	予		
				16	17	予	

- ・時間 9：00福蔵寺集合 山本(シゲ)の他1名以上の場合に実施（メールにて参加表明）  
午前9：30～12：30 3時間  
午後1：00～4：00 3時間

- ・実施林 人工林（間伐補助金あり、切り置き間伐）筑波小の北1. 2ha  
雑木林（補助金なし、薪と椎茸菌打ち用で自己消費が目的）

- ・12月23・24日 1月6・7は雑木林伐採予定  
3月8・9・16・17日は雑木搬出と菌打ち予定 菌打ちの費用は折半

- ・その他は人工林間伐を中心に活動

- ・人工林間伐は補助金支給対象（去年実績 1時間500円）となる。

- ・初心者は3日間（18時間）は研修期間として基本的な作業技術を身に付けること。  
（研修費は無料ですが補助金支給対象とはなりませんのでご理解ください）

- ・半農半林 全体の研修会(勉強会・見学会)はみなさんで決めましょう。

## 保険加入と道具など

### ● チェーンソーなどをも対象の保険に必ず加入します。

- ・ 初心者の場合は当面、日掛けのイベント保険に加入します。  
氏名、住所、連絡先が必要です。日掛けで300円ほどの負担です。
- ・ 継続される場合は、個人加入できるチェーンソーなどをも対象の保険に加入します。

### ● 服装・持ち物・弁当等について（下記で購入準備される第1は「はきもの」がおすすめです！）

- ① 服装 作業服・ズボン（汚れてもよいもの。袖口やズボンの裾は絞まるものか手甲・脚絆などを着用）、軍手、手袋（皮製またはスベリ止め付き軍手）、雨具（カッパ）、作業終了時汗で冷えますので、着替えなどに配慮。

- ② はきもの しっかりした運動靴、山作業用はきもの（地下足袋&脚絆でもよい。新たに購入する場合は、山仕事用スパイク付き安全靴(足袋タイプ可)がよい。)

- ③ 昼食、飲み物をご持参ください。

### ④ 作業用品

全員持参：筆記用具、テキスト「山造り承ります」、電卓（√機能付きのもの）

持っている人は：森林作業用のこぎり・なた、ヘルメット、チェーンソー、  
チェーンソーのメンテナンス用品（燃料は主催者で準備します）、安全ゴーグル、チェーンソーパンツ（安全ズボン）等

※ お持ちでないものはこちらでお貸しできるものもあります。

※ なお、山仕事用足袋・森林作業用品は下記で購入できます。

豊田森林組合 購買 TEL (0565) 62-1616 足助「百年草」対岸（平日）

(有) 富山商事 豊田市力石町 TEL (0565) 41-2272 （土日も開店）

● 連絡先 メール sigekayo@juno.ocn.ne.jp

携帯 090-5453-6411 fax 0565-62-4011

携帯のショートメール(sms)が便利

豊田市中核製材工場の実施事業者の決定について

1 実施事業者

企業の名称 西垣林業株式会社  
本社所在地 奈良県桜井市大字戒重 1 3 7 番地  
代表者氏名 代表取締役社長 西垣 泰幸  
資本金 7,500 万円  
従業員 127 人

【事業所】※複数本社制  
・桜井本社（奈良県）  
山林経営、原木市場、国産材製材等  
・名古屋本社（愛知県）  
製品市場、建築工事請負等  
・舞鶴工場（京都府）、浜松工場（静岡県）、  
酒田工場（山形県）  
外国産材製材等 ほか

2 事業計画の概要

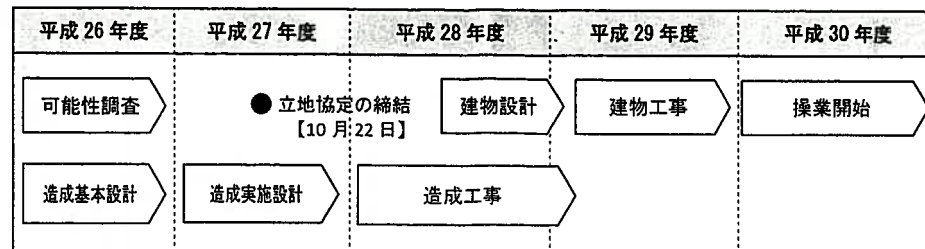
設備計画 製材工場棟（延べ床面積約 3,000 m<sup>2</sup>）、製品保管庫、中温乾燥機、高温乾燥機ほか  
生産計画 原木取扱量 45,000 m<sup>3</sup> ※操業 5 年度の想定  
製品計画 ヒノキ柱及び土台（JAS 認定）、ヒノキ板類、  
スギ柱（JAS 認定）、スギ間柱及び板類、チップ材  
特 色 地域材のブランド化、自社製品市場の堅実な販路と、市場情報を生かした製品開発

3 決定に係る評価のポイント

去る平成 27 年 6 月 5 日に募集要項を公表し、製材工場を運営する実施事業者の募集したところ、全国から 3 者の応募があり、森林、木材利用等の専門的知見を有する委員（6 名）で構成する選考委員会による審査を経て、実施事業者を決定した。決定に係る評価ポイントは以下のとおり。

- (1) 原木生産（川上）から製品販売（川下）まで一貫した木材産業への関わり
- ・自社で山林を所有し、素材生産（原木生産）のノウハウを地域に波及させることができるともに、自ら原木市場を運営し、原木調達に必要な需要動向の知見を有する。
  - ・ヒノキを含めた住宅用構造材の量産や寺社仏閣用材等の国産材の生産設備を有し、製材における実績が豊富である。
  - ・周辺地域を含めた既存の木材産業（地域の製材工場等）と、互いに得意分野で補完しあう相互連携が期待できる。
  - ・本市の樹種構成の特徴であるヒノキを主体とした生産計画であり、地域材の有効活用が期待できる。
  - ・名古屋市内に名古屋本社及び製品市場を置き、長年に亘り東海地域での営業実績があるとともに、マーケット情報を製品開発や生産計画に反映することができる。
- (2) 企業姿勢
- ・社として豊田市のプロジェクトを重点的に位置づけ、製材工場の運営に意欲的であることに加え、豊田市産材のブランド化に対して前向きな取組の姿勢がみられる。
  - ・周辺環境対策、安全管理体制などに対し必要な考慮がされており、定期的な地元工場見学会を計画するなど、地域と共生する工場づくりを目指している。
  - ・借入金に依存しない資金計画など、財務的に自立性の高い事業計画である。

4 操業開始に向けたスケジュール



参考 1 事業概要

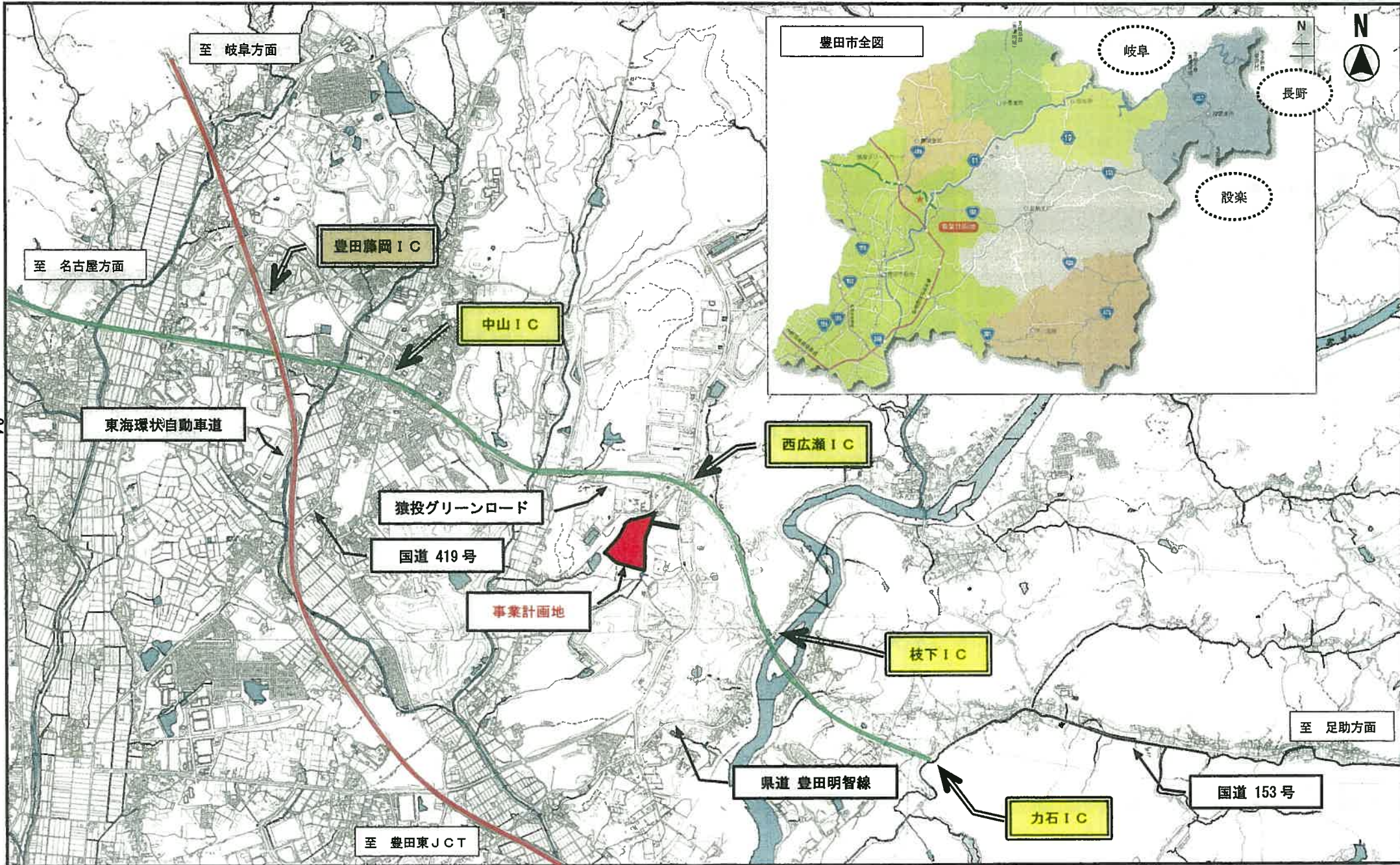
- (1) 事業手法  
市有地において市が造成工事を行い、賃貸借契約を締結した上で、実施事業者が製材工場を建設し、運営する民設民営方式
- (2) 事業計画地  
豊田市御船町山ノ神 56-116 ほか 2 筆
- (3) 面積  
開発区域面積：約 52,500 m<sup>2</sup>  
工場用地面積：約 30,000 m<sup>2</sup>
- (4) 想定規模  
国産材を主体に、年間の原木消費量が 3～5 万 m<sup>3</sup>程度以上



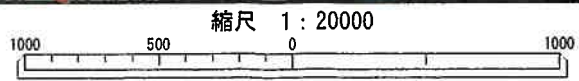
参考 2 募集に係る経緯

募集要項の公表	6 月 5 日（金）	募集要項の公表、参加表明書の受付開始
説明会・現地確認	6 月 19 日（金）	募集要項の説明、事業計画地の見学
参加表明書の提出	～7 月 21 日（火）	応募者による参加表明書の提出（5 者）
事業計画書の提出	～8 月 31 日（月）	応募者による事業計画書の提出（3 者）
プレゼンテーション	9 月 25 日（金）	応募者によるプレゼンテーション（3 者）
立地協定書（覚書）締結	10 月 22 日（木）	実施事業者と立地協定書（覚書）を締結

中核製材工場位置図



-24-



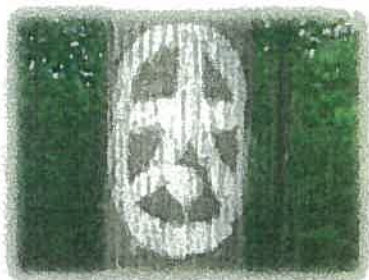
・この地図は参考図であり、内容を証明するものではありません。  
図形情報の時点、精度についてご確認の上ご利用ください。  
・「Copyright (C) ZENRIN co.,LTD.」



# 西垣林業株式会社

## ■会社概要■

創業：明治 45 年 4 月 10 日  
 設立：昭和 21 年 7 月 18 日  
 資本金：7,500 万円  
 代表者：取締役社長 西垣泰幸  
 従業員数：127 名（平成 27 年 10 月現在）  
 売上高：93.8 億円（平成 26 年 12 月期）  
 所在地：桜井本社 奈良県桜井市大字戒重 137 番地  
           名古屋本社 愛知県名古屋市長久区瑞穂区桃園町 3-23  
 事業内容：山林経営、立木の仕入販売、素材生産、木材の市売、製材及び木材加工  
           木材の仕入販売、建築工事請負、不動産賃貸



社有林のロゴマーク

## ■会社紹介■

西垣林業は、明治 45 年創業以来の精神である「信義と誠実」を企業理念とし、昭和 61 年より「木と人と、未来のために」をスローガンに掲げ、自然素材である「木材」の育成、生産、流通に関わる事業活動を推進しています。

この企業理念を踏まえながら、日々の事業活動において「公正・信用の重視」「共に生きる」という考え方を行動指針とし、「広く社会に貢献する企業」を目指しています。

木材事業の川上から川下まで幅広い事業をカバーし、桜井/名古屋の本社をはじめ全国各地に拠点をもち、広いエリアで地域に密着した事業を展開しています。この事業基盤を下に、長年積み重ねて参りました木材事業のノウハウを活かし、木材総合事業会社として総合力を発揮しながら取引先の皆様のお役に立てるよう、役職員一同取り組んで参ります。



桜井本社ビル



社有林

## ■事業拠点■



事業所名	所在地	事業内容
桜井本社	奈良県桜井市	山林経営、素材生産、原木市場、国産材製材等
名古屋本社	愛知県名古屋市長久区	製品市場、木材建材の小売、建築工事請負等
浜松工場	静岡県浜松市	外国産材製材等
舞鶴事業所／舞鶴工場	京都府舞鶴市	外国産材原木 及び 木材製品の仕入販売等
酒田事業所／酒田工場	山形県酒田市	国産材原木 及び 木材製品の仕入販売等
浜松事業所	静岡県磐田市	木材製品の仕入販売等
茨城事業所	茨城県小美玉市	国産材原木 及び 木材製品の仕入販売等
犬山事業所	愛知県犬山市	国産材原木の仕入販売等
四国出張所	高知県香美市	国産材原木の仕入販売等
栃木出張所	栃木県那須郡那珂川町	素材生産等
高山出張所	岐阜県高山市	国産材原木の仕入販売等



名古屋本社ビル



舞鶴事業所事務所



酒田事業所事務所

# 西垣林業株式会社

## ■ 事業内容 ■

### 一 山林経営

長期に亘る山林経営を通じて、持続可能な木材資源の有効活用  
主要作業：植林、撫育、間伐、作業道作り



### 一 立木の仕入販売 及び 素材生産

国産原木の総合卸売事業として、立木/原木の仕入販売から  
素材生産請負まで、山林のトータルコーディネーター  
主要取扱商品：国産原木全般（国有林、民有林）



### 一 木材の市売

木材市場の市売機能を通じ、適切な木材流通に貢献  
主要取扱商品：国産原木 及び 国内外産木材製品

### 一 製材及び木材加工

建築住宅部材としての木材製品の製造販売を行う  
量産工場と注文挽工場を併設、大量生産から伝統製材まで  
主要取扱商品：一般住宅向け製品 及び 社寺仏閣向け製品



### 一 木材の仕入販売

商売を通じた情報収集とネットワークを活かし  
外材製品を中心に木材全般の仕入販売を行う商社部門  
主要取扱商品：北米産原木、ロシア産製品、国内外産製品全般

### 一 木材建材の小売販売

木材市場のプロショップ、小売専門店「木の国屋」を運営



### 一 建築工事請負

木材総合事業会社としての経験やノウハウを基盤にした、  
木造建築工事 及び 部材販売



## ■ 沿革 ■

- 明治 45 年 初代社長 西垣愛太郎が奈良県吉野郡東吉野村にて素材業を創業  
大正 14 年 奈良県桜井市に進出  
昭和 10 年 現桜井本社所在地に移転、製材工場を新設  
昭和 21 年 西垣林業株式会社を設立  
昭和 23 年 名古屋市瑞穂区に名古屋出張所（現名古屋本社）を開設  
昭和 31 年 名古屋本社にて市売を開始  
昭和 32 年 桜井本社にて市売を開始  
昭和 33 年 外材部門を設置し、京都府舞鶴市に舞鶴支店（現舞鶴事業所）を開設  
昭和 34 年 名古屋本社にて製品（複式）市売を開始  
昭和 43 年 愛知県小牧市に株式会社西垣林業（現犬山事業所）を設立し、市売を開始  
昭和 51 年 外材部門の新拠点として、山形県酒田市にて西垣林業北日本株式会社を設立  
平成 15 年 西垣林業北日本株式会社の営業部門を譲り受け、酒田事業所を開設  
平成 16 年 名古屋本社にて小売専門店「木の国屋」を開設  
平成 17 年 「一般建設業許可」を取得。（建築工事業・大工工事業・内装仕上工事業）  
舞鶴、酒田の両拠点にてロシア産赤松製品の仕訳工場開設  
平成 18 年 桜井本社に国産材推進事業部を新設。杉 FJ 間柱を製造開始  
平成 19 年 茨城県小美玉市に茨城事業所を開設  
静岡県浜松市に浜松工場を開設。ロシア産赤松原板の人工乾燥&再割製材開始  
静岡県磐田市に浜松デリバリーセンター（現浜松事業所）を開設  
平成 20 年 酒田事業所を茨城事業所に統合  
平成 23 年 高知県香美市に四国出張所を開設  
平成 25 年 株式会社西垣林業を吸収合併し、小牧事業所（現犬山事業所）を開設  
平成 26 年 栃木県那須郡に栃木出張所を開設し、素材生産班を設置  
平成 27 年 桜井本社に素材生産班を設置  
小牧事業所を愛知県犬山市（現犬山事業所）に移転  
岐阜県高山市に高山出張所を開設  
山形県酒田市に酒田事業所を開設し資源活用部を設置

林業立村シンポジウム

# 林業・木材産業による 地方創生を目指して

～森林資源を基盤とした自治体経営を考える～

主催:十津川村 後援:林野庁、奈良県

日時

平成27年11月28日(土)

14:00～17:00

会場

十津川中学校 体育館

住所:奈良県吉野郡十津川村大字小原460  
※車で来村される場合は、十津川村役場(大字小原225-1)  
に駐車いただくようお願いいたします。

内容

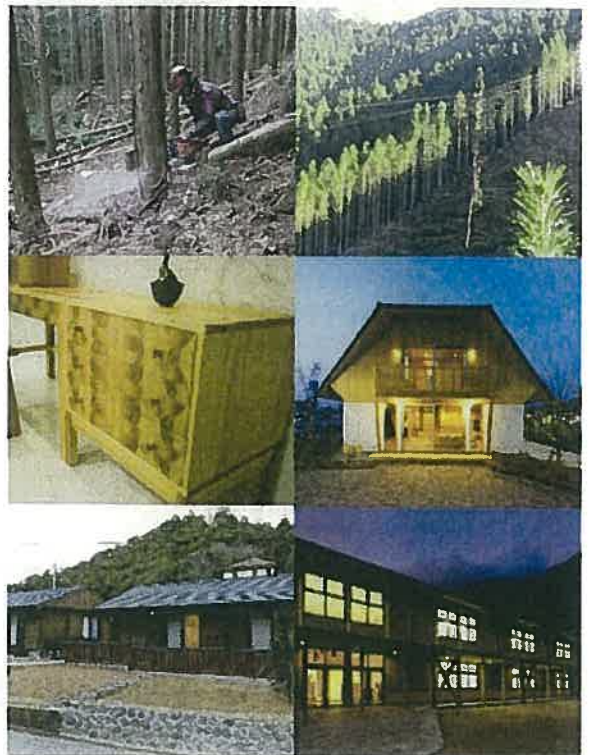
- あいさつ (14:00～14:15)  
更谷 慈禧(十津川村長)
- 基調講演 (14:15～14:55)  
「林業の成長産業化(仮称)」  
小坂善太郎(林野庁業務課長)
- 森林資源を活用した持続的な自治体づくりのための  
考え方・取り組み  
「人が輝く森林未来都市しもかわ」(14:55～15:20)  
三条 幹男(北海道下川町森林総合産業推進課長)  
… 休憩 5分 …  
「根羽村におけるトータル林業」(15:25～15:50)  
今村 豊(長野県根羽村森林組合参事)  
「人づくりから生まれる地方創生戦略」(15:50～16:15)  
矢房 孝広(宮崎県諸塚村企画課長兼地方創生担当課長)  
… 休憩 5分 …
- パネルディスカッション (16:20～17:00)  
三条 幹男(北海道下川町森林総合産業推進課長)  
今村 豊(長野県根羽村森林組合参事)  
矢房 孝広(宮崎県諸塚村企画課長兼地方創生担当課長)  
近藤 昭夫(十津川村農林課参事兼林業振興対策室長)

## シンポジウムへの参加方法

チラシ裏面の参加申込書に必要事項を明記の上、FAXで  
送付もしくは、メールでお申し込みください。

(定員100名、先着順)

参加費は無料で、どなたでも御参加いただけます。



申込先: 十津川村役場農林課 林業振興対策室 千葉・金森 宛

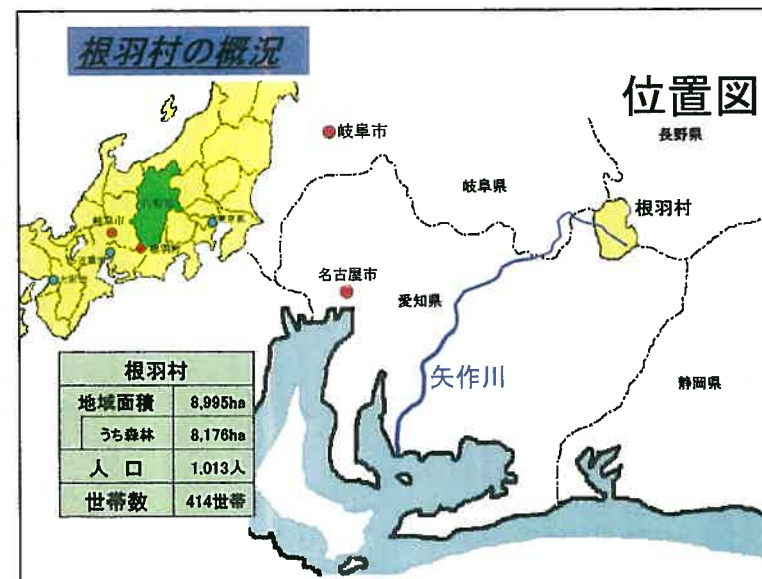
FAX: 0746 (62) 0210 E-mail: nourin@vlll.totsukawa.lg.jp

## 根羽村におけるトータル林業

～村民の志と林業と上下流連携による夢と希望の山村創造に向けて～



根羽村・根羽村森林組合



1

2

## 矢作川流域 根羽村と安城市の比較

	根羽村	安城市
面積	89.95km <sup>2</sup>	86.01km <sup>2</sup>
人口	1,013人	184,074人
人口密度	11.4人/km <sup>2</sup>	2,103人/km <sup>2</sup>
世帯数	414世帯	70,646世帯
標高	最高 1,415m	最高 27.7m
	最低 520m	最低 0.7m
気象状況	平均気温	11.9℃
	最高気温	35.1℃
	最低気温	-14.3℃
	年降水量	2,267mm
		16.1℃
		37.2℃
		-3.5℃
		1,351mm

3

## 根羽村から伝えたい「源流の元気」 3つの取り組み

### 1 根羽村民の元気な志...明日も勝つ!

何よりも根羽村が好きだということがすべての原点だ  
小さな山村の技能集団「チーム根羽」が輝いている

### 2 根羽村トータル林業...林業をやろうぜ!!

根羽村は志を持って林業に挑む希望の地である  
充実した森林と「森の民」が志を持った若者を引き寄せる

### 3 上下流連携...「チーム根羽」から「チーム流域」へ

上流域監督と下流域監督で流域社会をつくれ!!!

上流での原体験・場所の力は、人を育成し山村の顧客をつくれる  
つくる顧客は根羽村・木のファンと根羽村農林業の担い手の二つ

4

「チーム根羽」から「チーム流域」へ これからの展開  
「上下流連携・流域はひとつ運命共同体」の新しい芽が根羽にある

- 1 上下流連携で上流域が安心して農林業に取り組める**生産物の市場を一緒に創造する** ➡ 事業パートナー的流域プロジェクト
- 2 下流域の方が求める自由時間と空間は山村と都市で作れる**場所のかづくり** ➡ フレームメイキング
- 3 上下流が連携して山村見込み客を育成して山村を支える顧客をつくる

育成とは「～をやってみたいな、～っていいな」と感じさせてあげること

上流では 農林業をやってみたいなと感じさせること

下流では 木っていいな、根羽っていいなと感じさせること

山村の存続はこうした上下流連携・顧客育成・山村の取組み・受け入れに対する共感にかかっている

## 根羽村民の元気な志

～ 明日も勝つ! ～

5

6

## 根羽村元気な村づくり活動団体実践報告会

村民一人ひとりが主役 20団体が発表 勢い余って終了は夜



## 郷土食の祭典 食の文化祭

小さな村の豊かな食文化 地元の食材で今日も村民は元気一杯  
郷土食 80品目の出展 郷土食バイキングは大人気



7

8

**信大農学部生による「山里の聞き書き塾」発足式**

村の伝統・文化を次世代に残す 村民の誇りが素晴らしい  
冊子「長野県根羽村 ここは世界の真ん中 11篇の聞き書き」誕生



**「木の駅プロジェクト」30名で始動自分の村のことは自分で決める  
軽トラとチェーンソーで晩酌を 情熱の明治・仕掛の丹羽健・実践の南木**



**木の駅プロジェクトに小中学生がチャレンジ**

子供たちとつくる未来の農林業



**森林組合職員が小学生に木の魅力を伝える**

木のファンになる木の科学実験と輪っばづくり



## 村民参加の森林の健康診断

俺の山は一体いくらになるんだろう 伐倒して考えよう



## 木のある暮らしのアイテム検討会

村民アイデアで木の製品を考える 「特殊木工部隊ネバリン」始動



13

14

## 木の魅力と楽しさを伝える「木づかいライブ スギダラキャラバン」



## 菜の駅プロジェクト 買ってもらうのは野菜と根羽村とのつながり

源流のおすそ分け野菜で始まる流域連携 参加農家10軒  
7~11月まで月2回発送 1箱3,000円 現在会員34名



15

16

## 葬式料理請負隊「菊の会」

2009年 結成

～新しい葬式の仕組みに村づくりの原点がある～



- ・地域協力の葬式から葬儀屋さんへ
- ・村内から1時間離れた別荘で葬式をする
- ・親しい人も送ることができない
- ・住み慣れた村から見送ってあげたい



農文協「月刊地域」14号 写真・掲載たまき

・地域でやれないことで村全体なら助け合うことができる

### 2009年『菊の会』結成

- ・村の食材を使って、村の商店から仕入れて、昔ながらの村の葬式料理を提供する。

村内でお金を循環させる  
自分達で仕組みを作り動かす

## ドイツの小さな村に根羽村の未来が見える

～バイエルン州 レッテンバッハ村 人口830人でもここまでできる～

1978年 合併 1993年 州法を改正し独立

- ・自然再生エネルギーの活用(太陽光発電・バイオマス発電・薪・チフポイラー)
- ・地域通貨でお金を村内で循環させる取組
- ・村内の起業支援(若者がマイスターとして村に定着する)

☆ふるさとのプライドを子供達に自信を持って伝える



根羽村で志を持って一緒に生きよう!!!  
愛は根羽村を救う



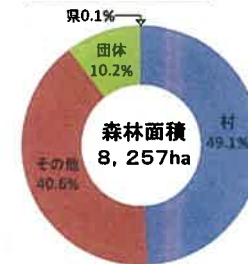


## 根羽村トータル林業

～ 若者よ 希望の地 上流を目指せ  
根羽村で林業をやろうぜ!! ～

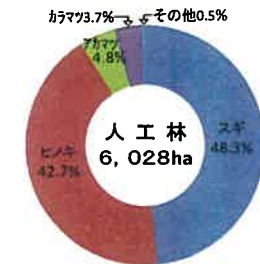
## 森林の状況

所有構造 (林野率92%)



・県	11ha	(0.1%)
・村	4,054ha	(49.1%)
・団体	84ha	(10.2%)
・その他	3,351ha	(40.6%)

人工林の樹種別面積 (人工林率73%)



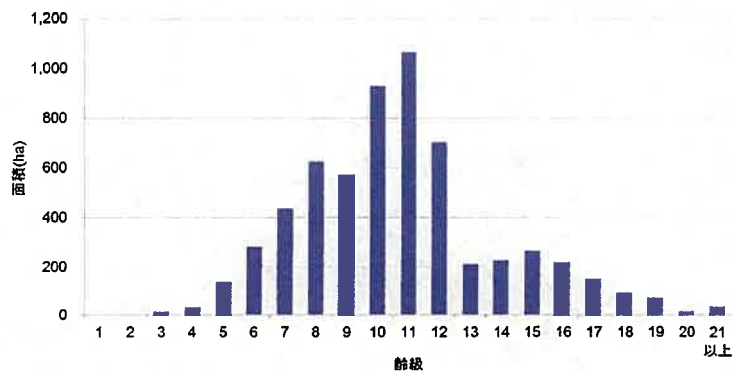
・スギ	2,910ha	(48.3%)
・ヒノキ	2,575ha	(42.7%)
・アカマツ	294ha	(4.8%)
・カラマツ	225ha	(3.7%)
・その他	24ha	(0.5%)

21

22

## 森林の現況

・人工林の齢級別内訳 高齢級はスギ、若齢級はヒノキ



23

昔の制度によって培われてきた森林との世代を通じた関わり  
山からの恩恵を受けてきた実績 これを次世代につなげる

明治時代 村有林を村民に貸付



1戸当たり 貸付林2.50ha 分収林3.00ha

- ・親が植え、子が育て、孫が伐る 親子三代の山づくりが始まる
- ・各世代を通じて山の恩恵を受けているから、山への愛着文化があり、山づくりへの意志が村民の間で継承されてきた
- ・現在、全戸が自分の山を平均して約5.50ha程所有している

村民450世帯＝森林組員 ➡ 林業に対する合意が得やすい

大正3年 明治用水土地改良区が村内に427haの山林を  
購入・経営→「水を使うものは自ら水をつくるべき」

大正11年 国と官行造林契約(1300ha)一村の大きな財源となる

23

24

## 根羽村トータル林業の意味

- ① **6次産業のトータル**  
伐採・搬出の一次、製材加工の二次、工務店への直送販売による三次産業の6次産業化
- ② **全世帯森林組合員のトータル**  
根羽村の組合員全員が森林組合員＝全世帯林業
- ③ **一本の木をすべて使うトータル**  
一本の木を建築部材に使用する他、樹皮、オガ粉、端材を乾燥機の本質イラーの燃料としてすべてトータル的に使う
- ④ **間伐木をすべて使うトータル**  
保育間伐により切り捨てて林内に置いてある未利用材も「木の駅プロジェクト」により1mあたり4,500円で村民より買い上げ、地域通貨で支払う
- ⑤ **人生のすべてのライフステージで木づかいを進めるトータル**  
青少年に対する木育から始まり、人生のすべてのライフステージで木づかいを進める
- ⑥ **伐採・造林一貫作業により次世代に向けた森づくりを行うトータル**  
50年生以上、500本/haの林分について帯状伐採による更新伐とコンテナ苗による植栽・獣害対策を同時に行い、次世代の山づくりをトータル的に行う

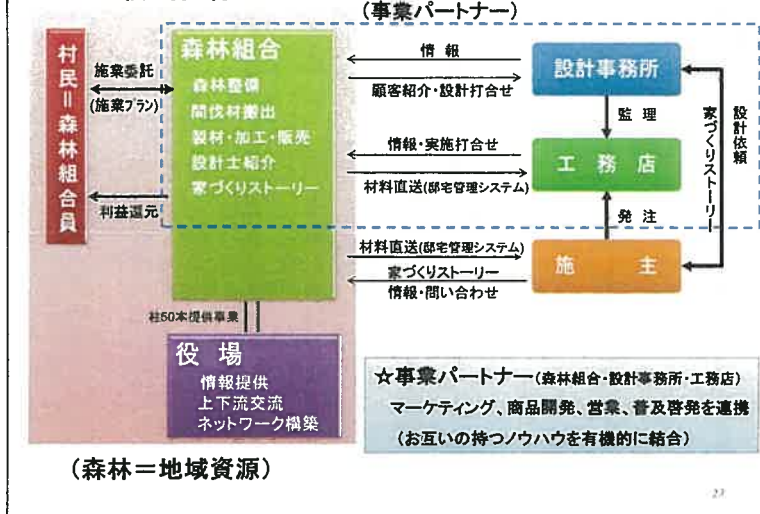
25



25

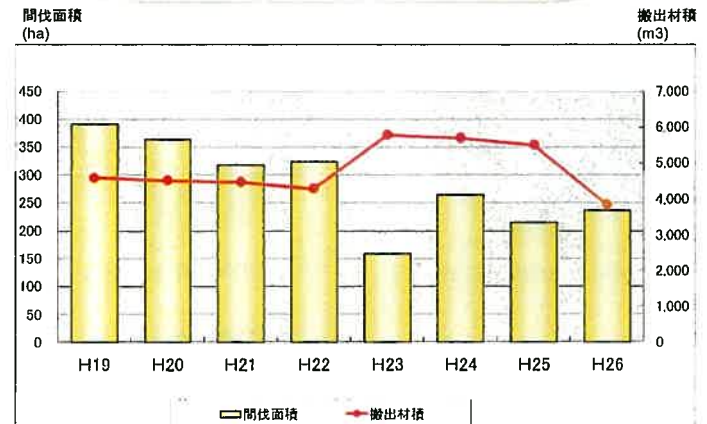
26

## 根羽村



27

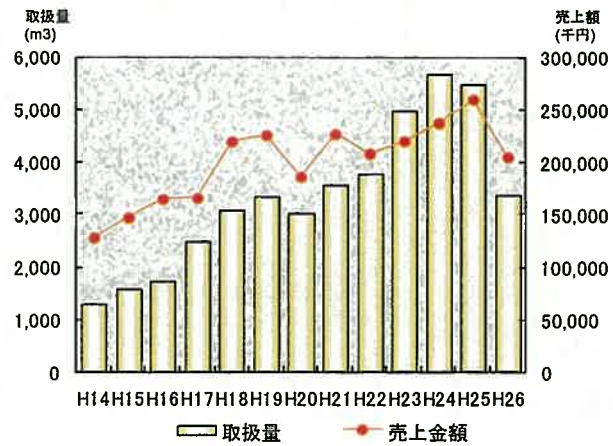
## 根羽村の間伐面積と搬出材積の推移



27

28

### 森林組合 木材加工・製材施設 取扱量の推移

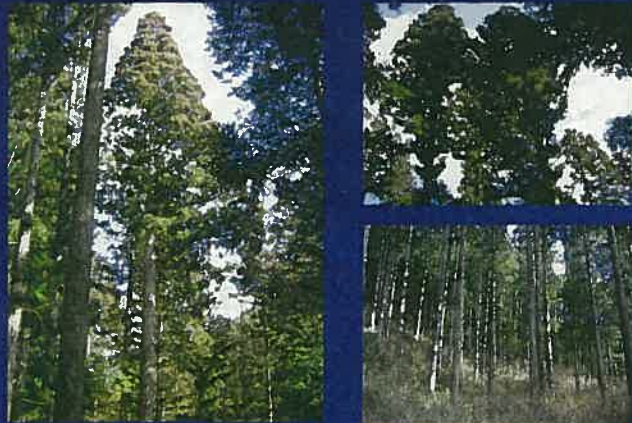


### 林業機械・製材加工施設の積極的な導入 やると決めた村が一体となった絶大なる支援策

機械名	数量
タワーヤーダ	2
フロセッサ	3
フォワーダ	2
ラジキャリー	2
バックホー	6
林内作業車	3
集材機	1

施設名	数量
作業用建物	1
製材加工機械	一式
乾燥機	4
製品保管庫	1
トラック	2
フォークリフト	2
木材流通センター	1

### 充実し活用していく森林資源



### 国土調査による境界杭を基本にした間伐施業個所の測量



### 釣竿による林分調査と施業承諾書の取得



### 地域林業の実践 根羽村トータル林業



### 重量のある木材を扱うには安全性の確保と 搬出コストの低減を常に考えなければならない



### 山づくりの担い手 若き技能職員は毎日皆いい汗をかいている



## 地域材利用の工務店による住宅見学会「木の集い」



- ・傾向的には動機発生後から3年目で建築着工
- ・家づくりストーリーによる差別化と顧客化へ
- ・最初はデザインから その内に建築士を知る
- ・木の集いによる地元建築士・工務店の掘起こし



## 近くの山の木 根羽スギを使った木造住宅の現地見学会



## 村独自の建築支援策により顧客を大幅に増やす

### 根羽スギの柱50本提供事業



- ・根羽スギ・ヒノキを50%以上使うことが条件、柱のみ対象
- ・平成17年度から累積で122棟建築された
- ・問い合わせ数は、建築がほぼ確実な年間60件程度
- ・平面図・立面図等が必要で村長の面接により決定
- ・県の助成金に対し、現物による建築支援措置、年間40棟



## 森林組合技能職員が教える山仕事の原体験 森の民への引き継ぎ 第一歩



間伐の実践と次代を担う子供の時からの  
森づくり・住宅づくりへの働きかけがポイント



ライフステージに合わせた木育の重要性

まずセンスオブワンダー 森や木を好きになって 地域の人材に  
地域づくりの担い手は、流域に住む子供達にかかっている



山の技能職員が先生  
その志を学生に伝えよう



上下流連携

～「上下流連携・流域はひとつ運命共同体」  
新しい発展の芽が根羽村にある!!!～

**安城市主催TASKIサミットを根羽村で開催してもらいました**  
 水環境の保全と持続可能な流域社会の発展を流域で取り組む



**「第6回中部環境先進5市サミットin根羽」  
 根羽宣言のポイント**

多治見市・安城市・新城市・掛川市・飯田市  
 + 根羽村

私たちは、流域の自治体や住民が、地域資源(人材・自然・産業・資金)の有効活用を通じて相互連携と交流に努めるとともに自然的、経済的及び人的なつながりを強化し、それぞれが必要とするものを補完し支え合うことにより、流域社会の持続可能な発展の実現を目指します。

平成27年7月7日

**安城市主催 わくわくネイチャースクール**  
 今年の農家民泊は定員45名に270名が応募されました



**企業との連携・支援**

**森林の里親制度**

○森林づくりへの企業の支援(アイシングループ6社)

アイシン精機(株)	H16. 4. 7~
アイシン・エイ・ダブリュ(株)	H16. 7. 20~
アイシン高丘(株)	H19. 4. 5~
アイシン・エーアイ(株)	H19. 4. 5~
アイシン化工(株)	H19. 4. 5~
(株)アドヴィックス	H24. 4. 1~

○支援金は村有林の間伐事業に活用

自然と親しむアイシングループのファミリー  
交流イベントは好評 夏の陣



夏の陣



夏の陣



秋の陣





## 明治用水土地改良区

そつうせんり りたくばんせい  
「疎通千里・利澤萬世」 (内務卿 松方正義)

水路を通すこと千里・その恩恵は萬世に及ぶ

1880年(明治13年) 明治用水初通水  
1914年(大正3年) 根羽村に水源かん養林として山林427haを購入

水を使う者は、自ら水をつくれ



明治用水頭首工



水源林

51

## 信州大学農学部との地域連携協定

地域の課題解決に向けて  
带状伐採による次世代森林造成 伐採・造林一貫作業



53

54

## 岐阜女子大学による森業創設・若者定住作戦



## 岐阜女子大学の森業による男女の出会い企画



55

56

## ツリークライミングに挑戦

3m上がるだけで違う世界・新たな感動  
山村を自分のアイデアで楽しもう!!



## 山村の素敵な時間・空間を自らアレンジ

根羽に恋して根羽に來い「根羽恋來まつり」



57

58

## プレイスメイキング 滝の飛沫浴へのアプローチづくり



## 山村に自分の空間を自分の企画で作り出す



59

60

## とうもろこしの収穫体験は大人気

来村者 旬の時期に新鮮な旬なものが食べたい  
生産者 旬の時期においしいものを食べてほしい



## 下流域の方とつくる千本ナメコ園の設置活動 魅力的なポイントづくり



61

62

## バイクグリーンツーリズムイン根羽

ライダーによる森づくりの全国発信とリピーターの獲得



## バイクミーティングは下流域の方々が 緑と森の空間に憧れて開催されました



63

64

**都市部への積極的な木製品PR**  
東京ビッグサイトでの住まいのフェアに出展



**根羽村手仕事祭り**  
人が人を呼ぶ 場所の力づくり



65

66

**里山の魅力を伝えるに様々なイベントに参加**  
メッセナゴヤ・信大農学部・アイシン高丘・伊那市



**木づかい提案で根羽村と北アルプスを結ぶ拠点をつくる**  
信州安曇野市穂高「中房温泉 貸切風呂 根羽の湯」誕生



67

68

☆ 山は素敵だ 小木曾振興課長と ☆







平成 26 年度 信州大学農学部と根羽村地域連携協定の取組み総括

根羽村の地域連携協定における取組み

本年度は、前年度から継続して取り組んだものも含め、様々な項目について検討を行った。その内容は次のとおりである。地域資源を活用した地域づくりの視点から信州大学農学部の各先生方と共に実証試験や検討会を重ねており、方向性や結論が得られているもの、検討段階にあるもの等、進捗状況はテーマによって異なる。

今後もさらに地域連携協定の継続に基づき、根羽村の持つ地域資源の優位性のある活用方法を見出して、村民主体の持続可能な村づくりを推進する。

平成 26 年度実施テーマ

テーマ	期待される成果・効果	備 考
① 遊休農地を利用した集落 周辺森林整備の検討～根 羽村「農林一体化事業」 に向けた基礎的考察～ [内川助教]発表	遊休農地とその里山周辺森林の見える化 農林一体となった地域資源の把握と活用 計画樹立・全研究成果のレイヤー統一化 集落単位の持続可能な村づくり・里山デザ インの基礎データ 新たな特産品生産の適地把握	
② 造林 1 年目における枝条 マルチングが ヒノキコ ンテナ苗の成長に及ぼす 影響（帯状伐採とコンテ ナ苗植栽による伐採・造 林一貫作業の継続研究） [城田助教]発表	造林経費の削減 次世代に向けた山づくり（林業放棄阻止） バランスの取れた森林年齢構成 時期を問わない造林作業 帯状伐採の光環境特性による生物多様性 林業のトータルコスト削減 苗木生産による形質優良木の遺伝子継続	
③ 根羽村スギ人工林におけ る冠雪害の発生判定モデ ルの構築とリスク管理へ の応用 [城田助教]発表	気象被害を受けにくい森林づくり 現況森林の主伐による早期活用 被害林分の今後の活用と森林育成 森林国営保険加入等の判断	
④ 月瀬の大杉における腐朽 診断と活力度診断 [城田助教]発表	月瀬の大杉の実態把握 月瀬の大杉の管理 月瀬の大杉の活用	
⑤ 月瀬の大杉の枝の年輪 解析 [安江助教]発表	月瀬の大杉の実態把握 月瀬の大杉の管理 月瀬の大杉の活用	

<p>⑥ シカの合理的・効率的な捕獲方法の検討とジビエとしての特産品化 [竹田准教授]</p>	<p>獣害被害の軽減 持続可能な森林資源の維持 ジビエとしての特産品普及 シカ肉の特性とその効果分析・評価確立 村民参加の特産品による地域活性化</p>	
<p>⑦ 矢作川流域全体の森づくりや木づかい推進を図ろうとする森づくりガイドライン・木づくりガイドライン作成に向けた矢作川流域圏懇談会への参加 [城田助教]</p>	<p>矢作川流域一体となった森林資源活用 下流域における森林資源活用に伴う上流域の林産業の振興 長野、愛知、岐阜3県をまたぐ「矢作川流域材」概念の確立 各地の理想的なモデル林普及による森林整備の推進・森林づくり提案 全ライフステージへの木づかい推進 木づかい推進による木の文化の継承 木づかいの水平展開から垂直展開へ 上流の森林組合と下流の工務店の連携による地元小学校に対する継続的な木育 スギダラ矢作川流域支部設立・全員集合・木づかいライブ・スギダラキャラバン開始</p>	 
<p>⑧ 信州大学農学部と根羽村連携によるオープンキャンパス・AFC・やまあいフェスへの参加による信大連携協定の取り組みと特産品のPR [竹田准教授・大学本部]</p>	<p>信大連携協定の取り組みと特産品のPR 木育による木のファンづくり 根羽村の顧客づくり 信州大学農学部のPR 志ある人材の発掘</p>	 
<p>⑨ 林地未利用材等の木質バイオマスエネルギー的利用の確立 [植木教授]</p>	<p>化石燃料の消費減 地域資源の有効活用 地球温暖化防止 簡易的な未利用材の搬出システム確立 カーボンオフセットクレジット販売 村民参加の木の駅プロジェクト 未利用材活用による村民所得の向上</p>	
<p>⑩ 里山資源を活用した都市と山村との交流促進プログラムの開発 [岐阜女子大学 浅野教授]</p>	<p>里山の潜在能力の引き出しによる集客 結婚や趣味性の高い出会いの場の確立 野外料理・イベントの開発 流域住民参加のオーダーメイドの山づくり 活動拠点施設導入と遊休農地と森林の活用</p>	

①シカ皮の利用及びスギ板  
を活用した輪っばの検討  
[竹田准教授・岐阜女子大  
学 浅野教授]

年間約 300 頭を捕獲するシカの有効活用  
はね出し材を利用した輪っば弁当の作成  
輪っば弁当箱によるシカ肉弁当作成(特産  
品)

